関西自然保護機構会誌 *22* (*2*) : *185－186, 2000*

近畿地方から絶滅した植物　8 [1)]

村　田　　源 [2)]

EXTINCT PLANTS FROM KINKI DISTRICT, JAPAN. 8

Gen MURATA

ヒメトラノオ *Pseudolysimachion rotundum* (Nakai) Holub var. *petiolatum* (Nakai) Yamazaki

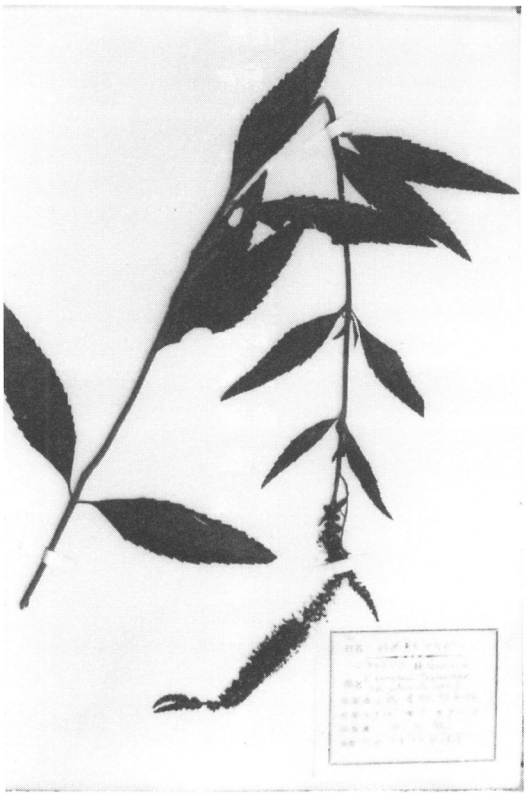


図 1　ヒメトラノオ *Pseudolysimachion rotundum* var. *petiolatum* (Nakai) Yamazaki 京都市貴船. 1930. 8. 4. 竹内敬採集の標本，京都府立植物園にて村田源撮影.

山地の林縁や草地に生える多年草。茎は直立して高さ 40～80 ㎝ に達し，上向きに曲がった短毛が生えている。葉は対生し，披針形－長楕状披針形，長さ 5～11 ㎝，巾 1～2 ㎝，縁には細かい鋸歯があり，先は鋭頭－鋭先頭，基部は鋭形で短い葉柄がある。8－9 月頃茎の先端に細長い花序を出し，花は短い柄があって多数つき，下から上の方に向かって順次咲いて行く。がくは4深裂，裂片の縁に毛がある。花冠は 4 裂して基部で合生，青紫色。雄しべは 4 本，雌しべの柱頭と共に長く花外につき出る。

ゴマノハグサ科の植物で，かつては *Veronica* (クワガタソウ属) としてあつかわれることが多かった。クワガタソウの仲間は果実が扁平で扇状になるのに比し，ルリトラノオの仲間は果実が球形または楕円形で扁平とならず，花が長い花穂に密につき，花冠基部の筒部が長い点を重視して，ルリトラノオ属 *Pseudolysimachion* Opizを立てる意見がある。ここでは山崎 (1968) の意見したがって *Pseudolysimachion* を用い，ヤマトラノオの変種とする見解 (T. Yamagaki, 1993) を採用する。

ヒメトラノオは本州中部以西と四国に知られているが，産地は極めて少ない。近畿では京都市の貴船付近だけに限られていた。

九州 (中・北部)，朝鮮，中国東北部には葉がや

1) 関西自然保護機構業績　第 275 号　2) 〒615－8282 京都市西京区松尾大利町 20－55

や広く葉柄がほとんど発達しないヤマトラノオ *P. rotundum* var. *subintegrum* (Nakai) Yamagaki が分布する。

貴船口駅から貴船神社に至る道端には昭和の中頃まではあちこちにヒメトラノオの姿が見られたが，昭和20年（1945）頃から後は全く見られなくなった（竹内，1962）。

貴船で1942年8月10日西沢信一氏採集の標本が京都市青少年科学センターにある。これが私が見た最も新しい標本である。

引用文献

竹内敬　1962　京都府草木誌　74　大本.

村田源　1997　京都府立植物園に残された竹内敬先生の標本の再検討2，京都植物23（5）：15.

山崎敬　1968　ルリトラノオ属について，植物研究雑誌　43（10－11号）：405－412.

Yamagaki, T. 1993. *Scrophulariaceae* : in Flora of Japan Ⅲa. (ed. Iwatsuki, K. et al.), 326－374. Kodansha, Tokyo.